

【平成24年度の支援活動】

活動項目	活動内容
被災地の子ども受け入れ	7/27～7/31 陸前高田市児童4名が平泉寺小学校児童と交流 8/1～8/4 南相馬市児童8名が野向・村岡小学校児童と交流
被災地物品の販売	もんぜん市など市内のイベントで出店販売
なみえ焼そばの招致	勝山左義長まつりになみえ焼そばチームを招待
陸前高田市長招へい	10/14 戸羽 太 陸前高田市長を招待し、講演会および山岸市長とのトーク会を開催
一時移住者支援	7/13 一時移住者と市の意見交換会 7/18 一時移住者が山岸市長と面談
希望の灯り点灯	2/25～3/15 市役所および社会福祉協議会で点灯



陸前高田市長を迎えて



夏休みの子ども受け入れ事業

平成24年度 勝山市東日本大震災支援活動の報告

「たくさんのご支援ありがとうございました」

皆さまから様々なご支援をいただき、昨年度は次のような支援活動を行いました。なお、今年度も夏休みの被災地の子ども受け入れや被災地の物品販売を中心に、支援活動を継続していきます。

☎ 未来創造課（市役所2階）  
88・1115



松井 猛さん（40）  
＝建設課 主任＝

松井主任が現地を見て、まず感じたことは、**全然復興が進んでいない**。昨年5月の時点で、がれき撤去はほぼ終わっていたようですが、目に見える形での復興はまだ進んでおらず、着任した10月は、ようやく少しずつ復興に向けた動きが始まった頃でした。

■復興の遅れ

「被災した自治体の力になりたかった。」と話す松井主任は、全国市長会からの派遣要請に応じ、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市へ、昨年の10月1日から今年の3月31日まで派遣されました。

被災地へどんな形でも支援を！  
被災地 派遣職員 インタビュー

市は東日本大震災の復興支援として、昨年10月から半年間、建設課の松井猛主任（当時）を被災地へ派遣しました。



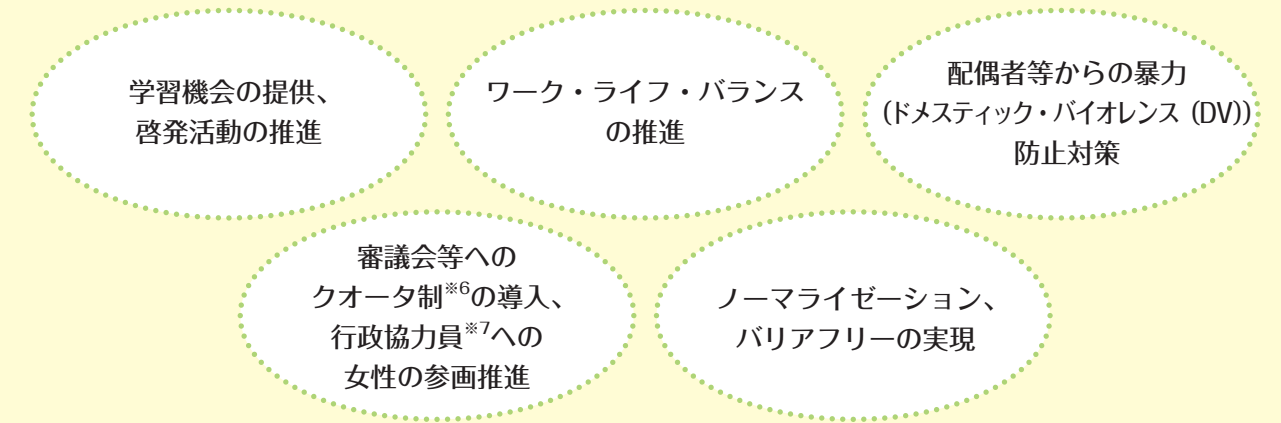
気仙沼市は、地震の影響で市全体が約70センチ沈下し、これにより海岸線は内陸側に近づき、農林道をはじめとするインフラは壊滅的な被害を受けました。

■被災地の現状

松井主任は、「復興はまだ先の話。どんな形でもいいから、支援を続けていく必要があります。被災者の皆さんは、忘れ去られることを恐れています。被災地の現状を少しでも知ってほしいと願っています。」と語る一方、「今は被災地での経験を仕事にも生かしたい。」と意欲を燃やしていました。

計画の推進

計画を推進するための5つの視点



※6 クォータ制：性別を基準に、一定の比率を割り当てる制度。公的機関・委員会等の構成員の男女比率に偏りがないようにする仕組み。

※7 行政協力員：勝山市独自の制度で、行政からの連絡事務や地域の意見を行政に反映させるための業務等を行う、行政と地域の橋渡し役。現在は区長に委嘱している。

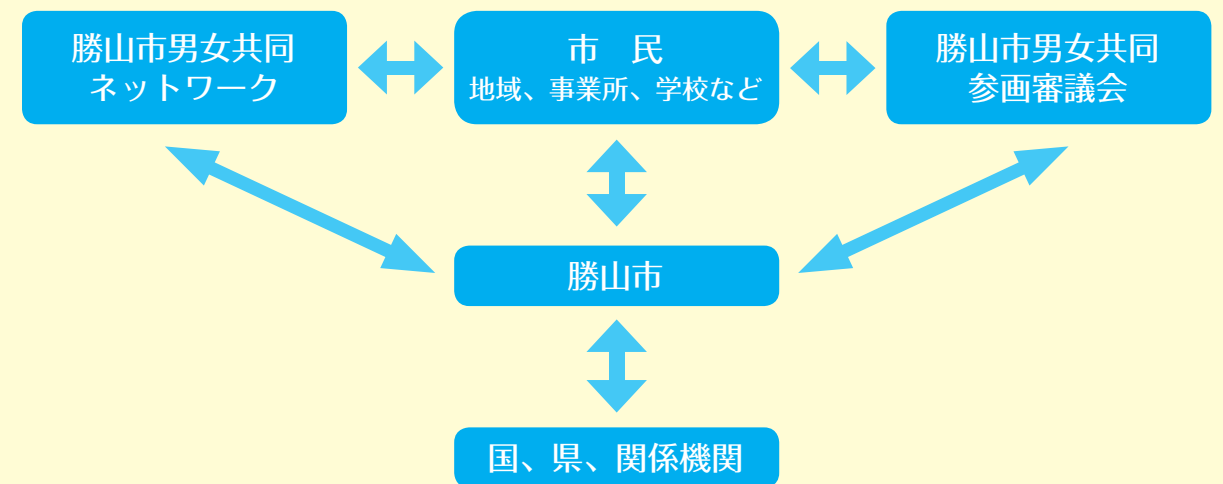
本計画での重点的な取り組み

1. 審議会等の構成員における男女の割合の偏りをなくします。
2. 各地区の運営に女性が参画できるよう支援します。
3. 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））の根絶に向けて取り組みます。



計画の推進体制

「男女共同参画社会の実現」に向けて、市民、地域、事業所、行政、関係機関が協働して取り組みます。



計画の詳しい内容につきましては、市のホームページをご覧ください。  
☎ 未来創造課（市役所2階） 88-1115 FAX 88-1119